

今治市図書館ビジョン 概要版

1 今治市立図書館の理念

100 年の時を超えて…
本と人とまちがつながる、いまばりの未来を紡ぐ図書館

2 基本方針

- (1)市民の知る権利を保障するために、資料の収集・保存・提供を充実します
- (2)市民の学びと育ちを生涯にわたって支えます
- (3)つながりを育む、市民みんながくつろげる居場所となります



3 これからの今治市立図書館のサービスのあり方および取組みのアイデア

(1) 本の収集・保存・提供等の基本機能の充実

- ① 市民の「知りたい」に応える蔵書を計画的に充実します
マンガ、ライトノベル、ZINE 等、従来の枠にとらわれない本の収集・提供。
- ② 紙とデジタルの双方を活かしたコレクションを構築します
紙の本のほか、電子書籍、音声・映像等、多様な媒体資料を収集。
新しい ICT 技術を取り入れたサービスを実施。
地域の祭り、イベント、市民活動等の映像を収集し、デジタルアーカイブとして保存。
MLA (Museum・Library・Archives) 連携によるオール今治コレクションの提供。
- ③ 市民の誰もが本にアクセスできる環境の整備を進めます
移動図書館に加え、公民館と連携した本の貸出・返却サービス、予約ロッカーの設置、
資料配送サービスなど、市内の全域に図書館サービスを拡張。多言語資料や高齢者および障がい者に配慮した資料を収集。開館中に図書館を利用できない市民向けの、24 時間貸出返却ができるシステムの導入。
- ④ 基本機能を支える専門性と運営基盤を強化します
選書やレファレンス等、職員の専門性の向上。AI、自動化書庫、自動仕分機、返却本処理ロボット、書架案内ロボット等、職員支援技術の導入。



JR 西宮駅(兵庫県西宮市)



長崎市立図書館(長崎県長崎市)

(2) 市民の学びと育ちを支える機能の充実

- ① 本と出会い、活用しやすい提供・展示の工夫を行います
オンライン利用者登録や資料予約、利用履歴の閲覧等が可能なアプリの導入。
分野横断的に再構成するテーマ別展示や D X を活用した本の見せ方の工夫。
- ② 家庭・学校・地域と連携し、学びを支えます
市内小中学校向けの学校図書館支援センターを開設、学校図書館の運営を支援。
地域の学習活動や講座等と連携し、学びを連続させるための環境をつくる。
- ③ 学びのきっかけをつくり、継続を支えます
予期せぬ出会いを生む読書会・講座・セミナー等、本を起点とした学びの場の提案。
地域課題を学び、課題解決を考える市民参加型プログラムの開発。
- ④ こどもや若者の学びと挑戦を支えます
こども・若者の創作活動の支援。3 D プリンタ、高機能 P C 等を設置し、プログラミング、動画編集、デジタルアート等の ICT スキルを高める講座を提供。
親子連れで安心して利用できる環境の整備、こどもの一時預かりや育児コンシェルジュ等の支援サービス。



こども本の森 中之島(大阪府大阪市)
写真:伊東俊介



ジェイトエル(東京都北区)

(3) つながりを育む、ひらかれた場としての機能の充実

- ① 市民が日常的に立ち寄り、さまざまな関わりが生まれる居場所をつくります
読書や学習だけでなく、広場やカフェスペース等の空間を創出、おしゃべりや食事を楽しむ環境づくり。
完全静寂エリア／ほどよい会話 OK エリア／活動型エリア等、音の許容度に応じた館内のゾーニング。
- ② 図書館の内外をつなぐ関係が、まちへと広がり続ける仕組みを整えます
まち歩き、屋外空間でのワークショップ、イベント等、館内外の空間を横断した企画の実施。他の公共施設や民間施設と連携し、図書館サービスをまち全体に拡充。
- ③ 市民とともに育ち、更新されていく場とします
市民が学びや活動を企画・運営できる仕組みをつくり、市民活動の成果を収集・発信。
コミュニティマネージャーの配置を通じた、市民や今治で活動するさまざまな人々の仲間づくりや活動の支援。



大和市文化創造拠点シリウス
(神奈川県大和市)
写真:株式会社エスエス 加藤俊史



ゆいの森あらかわ(東京都荒川区)

4 サービス展開に向けた機能分担

図書館		特色・機能
中核拠点	陸地部拠点図書館	陸地部の図書館サービス（直接サービス）の中核的機能を担います。 滞在型図書館として中心市街地活性化を図ります。
	島しょ部拠点図書館	島しょ部の図書館サービス（直接サービス）の中核的機能を担います。
	共同保存図書館	市全体の図書館サービス（間接サービス）の中核拠点として、全館蔵書の共同保存、整理業務、参考図書・郷土資料・行政資料を集積したレファレンスセンター、各館へ資料を配送するための物流センター、移動図書館の基地、郷土資料等の電子化、オンライン図書館の管理・運営、学校図書館支援センターの役割を担います。
地区館		今治市立地適正化計画における地域生活拠点に設置する市民の生活圏にある図書館として、こどもたちや地元住民の日常の読書や学習を支えます。 既設の地区館に加え、公民館図書室を図書館ネットワークに統合して、自動貸出機、返却ボックス、予約ロッカー等を設置、地区館としての機能をもたせます。
サテライト図書館 (分館)	ネウボラ拠点施設	ネウボラ拠点施設内にある児童センター図書室の運営を支援するとともに、親子が本を介して触れあえるさまざまな事業を実施します。
	大型商業施設	大型商業施設等に無人図書館を設置し図書館サービスを届けます。
	駅・港・コンビニ等	身近な施設で予約資料を貸出・返却可能にします。
移動図書館		地区館・分館から離れたところへの巡回に加え、イベント等に参加します。
オンライン図書館		電子図書館、デジタルアーカイブ等のオンラインサービスを充実します。
学校図書館		市内小中学校の学校図書館に学校司書を派遣し、司書教諭と連携して図書館運営を支えます。

5 施設整備方針

今治市立図書館の各施設は、いずれも開館から相応の年月が経過しており、施設・設備の老朽化の進行、蔵書数の増加による書架収容能力の限界、ICT を活用したサービスへの対応不足、利用者の多様な滞在・活動を受け止める空間の制約等の課題があります。一方、将来的な人口減少や財政状況を踏まえ、新規施設の建設を抑制しなければならず、図書館においても、原則、既存施設の改修・機能更新により、必要な機能を段階的に整備していきます。